

経 済 日 誌

(2 月 中)

- 1日 ○自販連, 1月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数(含む軽)は、33万4,838台で前年比 $\Delta 12.4\%$ と17か月ぶりのマイナス
- 米供給管理協会, 1月のISM景況指数(製造業)を発表
総合指数は 49.1% と前月(47.1%)から低下
- イングランド銀行(BOE), 金融政策委員会を開催・政策金利の据え置き(5.25%)
(2021年12月~2023年8月に14回連続利上げ(上げ幅合計 5.15%)後、2023年9月~2024年2月据え置き)
- 2日 ○米労働省, 1月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比35.3万人増、12月分は同33.3万人増に上方修正(+11.7万人)、11月分は同18.2万人増に上方修正(+0.9万人)
失業率は 3.7% と前月(3.7%)から横ばい
- 6日 ○厚生労働省, 12月の毎月勤労統計(速報)を発表
現金給与総額(共通事業所系列)は前年比 $+1.5\%$ (うち所定内給与は同 $+2.2\%$ 、所定外給与は同 $+0.4\%$ 、特別給与は同 $+0.9\%$)となり34か月連続のプラス
- 総務省, 12月の家計調査(二人以上の世帯)を発表
実質消費支出は前年同月比 $\Delta 2.5\%$ と10か月連続の減少、季調済前月比は $\Delta 0.9\%$ と3か月連続の減少
基調判断は「家具・家事用品や食料など幅広い項目で減少がみられたものの、外食や保健医療サービスなどは増加した」
- 7日 ○内閣府, 12月の景気動向指数(CI)(速報)を発表
先行指数は110.0(前月差 $+1.9$ ポイント)で4か月ぶりの上昇、一致指数は116.2(前月差 $+1.6$ ポイント)で2か月ぶりの上昇、遅行指数は106.0(前月差 $+0.3$ ポイント)で3か月ぶりの上昇、基調判断は「改善を示している」とし据え置き
- 米商務省, 12月の貿易・サービス収支を発表
貿易・サービス収支(国際収支ベース)は $\Delta 622$ 億ドルとなり、前月($\Delta 619$ 億ドル)から赤字額は増加
- 8日 ○財務省, 12月の国際収支状況(速報)を発表
経常収支は7,443億円、前年差 $+7,348$ 億円で2023年2月以降、11か月連続の黒字
- 内閣府, 1月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差 $\Delta 1.6$ ポイントの50.2となり4か月ぶりの減少、先行き判断DIは前月差 $+2.1$ ポイントの52.5となり3か月連続の上昇、景気現状の基調判断は「景気は、緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。また、令和6年能登半島地震の影響もみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている」と据え置き(一部表現変更)
- 東京商工リサーチ, 1月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は701件(前年同月比 $+22.9\%$)と22か月連続の前年比プラス、負債総額は791億2,300万円(同 $+39.9\%$)、倒産企業の従業員数は2,867人(同 $+6.1\%$)、上場企業倒産は0件
- 9日 ○国土交通省, 12月の建設工事受注動態統計を発表
公共工事受注額は前年同月比 $+14.4\%$ で2か月連続のプラス
- 日本銀行, 1月のマネーストック(速報)を発表
M2は前年同月比 $+2.4\%$ 、M3は同 $+1.8\%$ 、広義流動性は同 $+2.2\%$
- 13日 ○日本銀行, 1月の企業物価指数(速報)を発表
前年同月比 $+0.2\%$ となった
- 米労働省, 1月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比 $+3.1\%$ 、前月比 $+0.3\%$ 、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比 $+3.9\%$ 、前月比 $+0.4\%$
- 15日 ○内閣府, 2023年10~12月期のGDP(1次速報)を発表
実質GDP成長率は、季調済前期比 $\Delta 0.1\%$ (年率換算 $\Delta 0.4\%$)となり、2四半期連続のマイナス成長
名目GDP成長率は、同 $+0.3\%$ (年率換算 $+1.2\%$)
GDPデフレーターは、同 $+0.4\%$
- 東日本建設業保証会社等, 1月の公共工事前払金保証統計を発表
公共工事請負金額は前年同月比 $+12.7\%$ で5か月連続のプラス
- 米商務省, 1月の小売売上高を発表
総合は前月比 $\Delta 0.8\%$ 、自動車・同部品を除くと前月比 $\Delta 0.6\%$
- 米連邦準備制度理事会(FRB), 1月の鉱工業生産を発表
総合は前月比 $\Delta 0.1\%$

経 済 日 誌 (続)

(2 月 中)

<p>○英政府統計局, 2023年10 - 12月期のGDP (速報) を発表 実質GDP成長率は前期比$\Delta 0.3\%$, 年率$\Delta 1.4\%$</p> <p>16日 ○国土交通省, 12月の建設総合統計を発表 公共工事出来高は前年同月比$+2.6\%$で, 16か月連続のプラス</p> <p>19日 ○内閣府, 12月の機械受注統計を発表 民需 (除く船舶・電力) は季調済前月比$+2.7\%$ 基調判断は「足踏みがみられる」とし据え置き</p> <p>21日 ○財務省, 1月の貿易統計 (速報) を発表 輸出は自動車, 半導体等製造装置等が増加し, 前年比$+11.9\%$の7兆3,327億円, 輸入は石炭, 液化天然ガス, 通信機等が減少し, 同$\Delta 9.6\%$の9兆910億円, 貿易収支は$\Delta 1$兆7,583億円で2か月ぶりの赤字</p> <p>○政府, 2月の月例経済報告を発表 景気の基調判断を「景気は, このところ足踏みもみられるが, 緩やかに回復している。」とし下方修正</p> <p>27日 ○総務省, 1月の消費者物価指数を発表 生鮮除く総合は前年同月比$+2.0\%$となり, 29か月連続のプラス</p> <p>29日 ○経済産業省, 1月の商業動態統計を発表</p>	<p>小売業販売額は前年比$+2.3\%$で23か月連続の増加, 季調済前月比は$+0.8\%$で2か月ぶりの増加 基調判断は「一進一退の小売業販売」とし現状維持</p> <p>○経済産業省, 1月の鉱工業指数 (速報) を発表 生産は季調済前月比$\Delta 7.5\%$, 出荷は同$\Delta 8.3\%$, 在庫は同$\Delta 1.8\%$ 基調判断は「生産は一進一退ながら弱含み」とし引き下げ</p> <p>○国土交通省, 1月の建築着工統計調査を発表 新設住宅着工総戸数 (原数値) は, 58,849戸 (前年同月比$\Delta 7.5\%$) と8か月連続の減少, 季調済年率は80.2万戸 (前月比$\Delta 1.5\%$)</p> <p>東証株価指数 (TOPIX) 第1部 (終値)</p> <p>月間最高値 2,678.46 (27日) 〃 最安値 2,534.04 (1日)</p> <p>日経平均株価 (終値)</p> <p>月間最高値 39,239.52円 (27日) 〃 最安値 36,011.46円 (1日)</p> <p>東京外為市場 (ドル・円相場, 銀行間直物, 17時時点)</p> <p>月間最高値 146.63円 (2日) 〃 最安値 150.75円 (28日)</p>
---	--